

全国障害者生活支援研究会（サポート研）第5研究委員会主催学習会

重度訪問介護の対象拡大と パーソナルアシスタンスの課題

講師 岡部耕典氏（早稲田大教授）

7月27日（土）13：30～16：30

渋谷区勤労福祉会館（渋谷駅5分・地図は下記）

参加費：サポート研会員無料 その他の方1,000円

総合支援法への変更の中で、来年度から①重度訪問介護の知的・精神への拡大②グループホーム・ケアホームへの一本化とヘルパー導入や一人ユニットが実施されることになっています。この「改正」は、知的障害者の地域生活支援においても大きな転換の「契機」となりうる質を秘めているといえます。しかし、その内容がパーソナルアシスタンスにつながる中味となっていくか否かについては、これからの当事者団体や関係者の働きかけにかかっているとされます。

そこで、サポート研第5研究委員会（サポートシステム）では、重度訪問介護とグループホームの再編に係る課題について連続で学習会を開催することとしました。

今回は、連続学習会の第一回目として制度改革推進会議総合福祉部会でパーソナルアシスタンスのあり方を検討する訪問系作業チーム副座長を務めた岡部耕典さんに、自閉症の息子さんの自立生活の様子も紹介していただきながら、私たちが取り組む課題を提起していただこうと思います。多くの皆様のご参加をお待ちします。

※第二回目『グループホームの課題』は10月に開催予定。日程が確定し次第ご案内します。

参加ご希望の方は【サポート研事務局】

FAX 044-271-8788 または

MAIL support-ken@forest.ocn.ne.jp

お名前・所属・ご連絡先をご記入の上
お申込下さい。

